

## 用語解説

No	用語	内容	索引 (項)
1	アイデアソン	アイデアとマラソンを組み合わせた造語。特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、それをまとめていく形式のイベント。	7, 26, 54, 90, 101, 108
2	アウトソーシング	従来は組織内部で行っていた業務、あるいは、新規に行う業務を全部又は一部、外部機関から調達すること。	56, 121
3	アフィリエイト	ネット広告の課金方式の1つで、Webページやメールマガジンなどの広告媒体から広告主のWebサイト等へリンクを張り、閲覧者がそのリンクを経由して広告主のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、広告媒体の運営者に一定の料率に従って報酬が支払われる方式のこと。	79
4	アプリケーション	アプリケーションプログラムの略。アプリとも言う。コンピュータで、使用者の業務に応じて作成したプログラムのこと。	3, 4, 7, 8, 15, 21, 22, 23, 26, 47, 49, 50, 52, 54, 59, 61, 74, 77, 78, 90, 94, 108, 110, 111, 113, 114
5	アルゴリズム	問題を解決するための方法や手順のこと。問題解決の手続きを一般化するもので、プログラミングを作成する基礎となる。	4, 44, 46, 75
6	オープンサイエンス	公的研究資金を用いた研究成果（論文、生成された研究データ等）について、科学界はもとより産業界及び社会一般から広く容易なアクセス・利用を可能にし、知の創出に新たな道を開くとともに、効果的に科学技術研究を推進することでイノベーションの創出につなげることを目指した新たなサイエンスの進め方のこと。	119
7	オープンソース	人間が理解しやすいプログラミング言語で書かれたコンピュータプログラムであるソースコードを広く一般に公開し、誰でも自由に扱ってよいとする考え方。また、そのような考えに基づいて公開されたソフトウェア。	6, 53, 86, 122
8	カタログサイト	政府等公的機関が保有するデータを二次利用が可能な状態とし公開している「オープンデータ」を、わかりやすく案内・横断的検索できるようにしたサイトのこと。	19, 22, 24, 56, 63, 65, 66, 86, 101, 102, 108, 112, 113
9	共通語彙基盤	分野を超えた情報交換を行うためのフレームワークのことで、個々の単語について表記・意味・データ構造を統一し、互いに意味が通じるようにすることにより、オープンデータのデータ間の連携はもちろんのこと、行政システムをはじめとした各種システムの連携、検索性の向上等を実現する社会全体の基盤。用語の参照辞書を整備することで、各種データの同一性の確認を容易にし、その結果として、システム間の連携やオープンデータの活用を容易にできるようにする仕組み。	115
10	クラウドソーシング	不特定多数の人の寄与を募り、必要とするサービス、アイデア、コンテンツ等を取得すること。	100
11	クリエイティブ・コモンズ・ライセンス	著作権を有する著作物（単なる事実や数値データ自体は著作物とはならない）を、インターネットを通じて公開するにあたり、設定する条件の範囲で二次利用を認めているという意思表示をする仕組み。	19, 21, 26, 27, 33, 104, 106

No	用語	内容	索引 (項)
12	クレジット	使用された情報元等の出所を明示する言葉。	7, 19, 104
13	コンテンツ	媒体によって記録・伝送される、人間にとって意味のあるひとまとまりの情報の中身。	11, 32, 47, 70, 72, 78, 79, 86, 103, 106, 129
14	コンピュータサイエンス	情報と計算の理論的基礎、及びそのコンピュータ上への実装と応用に関する研究分野。	55
15	シンギュラリティ	科学技術の急速な発達により、AI (人工知能) やロボットなどが人間の知性や能力を超えたときに起こる出来事であり、ひとたび優れた知性が創造された後、再帰的に更に優れた知性が創造され、人間の想像力が及ばない超越的な知性が誕生するという仮説のこと。米国の数学者ヴァーナー・ヴィンジと未来学者レイ・カーツワイルにより初めて提唱された。	118
16	スタートアップ	比較的新しいビジネス領域やスタイルで急成長し、市場開拓フェーズにある企業や事業。	110, 111
17	ソースコード	プログラミング言語などの人間が理解・記述しやすい言語やデータ形式を用いて書き記されたコンピュータプログラムのこと。	6, 122
18	ソフトウェア	何らかの処理を行うコンピュータプログラムの総称。	4, 6, 7, 8, 53, 86, 119, 122
19	地域経済分析システム (RESAS)	自治体の様々な取組を情報面から支援するために、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れ等の官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムのこと。	80, 81, 119
20	ディープラーニング	システムがデータの特徴を学習して事象の認識や分類を行う機械学習の手法のこと。ヒトの脳の神経回路を工学的に模倣したモデル (ニューラルネットワーク) をベースにし、回路の中間部分を多層構成にすることで、データの特徴をより深いレベルと高い精度で学習する。	4, 117
21	データキュレータ	多くのデータセットの中から、役に立つものを選び出し、それらを必要ならば修復し、分析する役割を持つ人、モノ。	119, 121
22	データセット	プログラムで処理されるデータのまとまり。	9, 18, 21, 66, 102, 113
23	データの粒度	データの粒度とは、表等のデータのまとまり (データセット) におけるデータの細かさを表す指標のこと。例えば、公共施設の一覧表で施設の延床面積を見る場合、施設単位で延床面積を記載している表と施設を構成する建物棟単位で延床面積を記載している表では、後者の方がデータの粒度が細かいと言える	9, 10, 47, 97, 106
24	ドメイン	全体の中に定義される部分領域。特に、インターネット上に定められた部分領域を言う。ネット上の住所に当たる。	86, 102
25	ハッカソン	広い意味でソフトウェアのエンジニアリングを指すハック (hack) とマラソンを組み合わせた米IT業界発祥の造語。あるテーマに沿って、各人の技術やアイデアを持ち寄り、短期間に集中してサービスやシステム、アプリケーション等を開発し、成果を競う。	7, 26, 54, 90, 108
26	パッケージ	特定の業務・業種で汎用的に利用することのできる既製のソフトウェア。	19

No	用語	内容	索引 (項)
27	ビッグデータ	従来のデータベース管理システム等では記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群を指す。明確な定義があるわけではなく、企業向け情報システムメーカーのマーケティング用語として多用されている。	4, 44, 56, 58, 69, 80, 93, 97, 118, 121, 122, 126
28	ファイル形式	ファイル (コンピュータでデータを扱う際のデータのまとまり) にデータを記録するための方式やルールのこと。対応するソフトウェアが決まっているもの (例えば、ワープロソフト「一太郎」のファイル形式等) と、いろいろなソフトウェアで扱える汎用的なもの (例えばCSV形式等) がある。	6, 8, 9, 10, 20, 21, 22, 45, 49, 52, 57, 62, 64, 87, 89, 91, 97, 99
29	プログラム	コンピュータに対し、情報をどう処理するかという命令を記述したものの。	3, 4, 6, 46, 100, 122
30	ポータルサイト	Web上の様々なサービスや情報が集約されている、Web利用の起点 (入口) となるWebサイトのこと。	18, 26, 86, 113
31	メタデータ	データについてのデータ。あるデータそのものではなく、そのデータに関連する情報のこと。データの作成日時や作成者、データ形式、タイトル、注釈等。	63, 65, 86, 87, 102, 119, 121
32	ライセンス	それが存在しなければ違法となる行為をすることを許可すること、あるいはその許可を証する書面のこと。	6, 8, 19, 21, 32, 63, 95, 99, 103, 104, 119, 121, 123
33	AI (人工知能)	人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラム等のことを言う。	4, 5, 107, 117, 118, 119, 120, 124, 126
34	API	アプリケーションプログラムインターフェ이스の略。プログラミングの際に使用できる命令や規約、関数等の集合の事を指す。ソフトウェア開発の際、一から全てを作るより、APIを利用すればもともとあるプログラムを呼び出して、その機能を組み込んだソフトウェアを開発することができる。	65, 67, 121
35	CC BY	原作者のクレジットを表示することを主な条件とし、資料のリミックスや改変、営利目的での二次利用も含めて可能とするライセンスで、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのレベルの1つ。	19, 21
36	CKAN	Open Knowledge Foundation (英。政府や自治体等が保有する公共データの公開・利用等を支援する非営利団体として2004年に設立された) が開発している、データカタログサイトを構築するためのオープンソースソフトウェアのこと。	86, 102
37	ICT	Information and Communication Technologyの略で、情報処理及び情報通信、つまり、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービス等の総称。IT (情報技術) のほぼ同義語。2000年代半ば以降、ITに替わる語として、主に総務省をはじめとする行政機関及び公共事業等で用いられている。	3, 4, 21, 25, 53, 55, 65, 67, 83, 111, 121
38	IoT	Internet of Thingsの略で、モノのインターネット化を意味する。センサーやデバイスといった「モノ」がインターネットを通じてクラウドやサーバに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。	5, 68, 117, 120, 122, 124, 126

No	用語	内容	索引 (項)
39	ITリテラシ	ITを使いこなす能力。インターネット等をうまく利用する能力、様々なアプリケーションソフトを使いこなし効率的に業務を行う能力等、コンピュータに関して広い意味での利用能力を指す。	89, 107
40	RFI	Request For Informationの略で、業務委託等契約に当たり、発注先候補の業者にサービスの概要や実績等の情報を提供してもらうための依頼文のこと。	65
41	URI	情報やサービス、機器等何らかの資源 (リソース) を一意に識別するためのデータの書式を定義した標準の1つで、名前または場所を識別する書き方のルール of 総称。一般的にはインターネット上のデータやサービス、機器等の所在情報を表すために用いられる。	8